



島中だより

令和7年11月28日 第8号

学校ホームページも随時更新中!

【今年度の重点目標】

新しい社会を
創り出す
能力や態度の育成



大きな行事がひと段落の11月 でもやること満載11月

校長 梶原 大

「11月に入ったなあ」と思っていたのがつい最近のことでしたが、気づくと月末の学校だより作成に追われ原稿を書いているところです。ちょっと生成AIに作文してもらいましたので、興味がありましたらリンク先を見てみてください。出来の方は素晴らしいです。

[リンク先：生成AIが作成してくれた11月号学校だより巻頭言です](#)

さて、本題に戻ります。

学校の中では比較的時間に余裕があるはずの私ですらこんな感じですから、生徒の皆さんや先生方にとっては、怒涛の11月だったのではないのでしょうか？

そんな11月を少し振り返ります。11月に入ってすぐに3連休（文化の日）があり、それが明けて3年生の進路説明会（4日）、1年生の公開研究授業（5日）がありました。小学校の先生方や小野寺教育長様、そして後志教育局の方々等、たくさんの関係者にバレーボールの授業を見ていただきました。6日は3年生の学力テスト総合C、7日には縄文太鼓の演奏練習を各学年で行いました。翌日の土曜日は「ふるさと演芸会」があり、合唱と縄文太鼓の演奏を村民の皆様や島小児童の皆さんに聴いて頂きました。合唱ではアンコールの声も挙がり、それに応える一幕もありました。翌週13日には3年生の期末テストがあり、3年生はいつ休めているのか分からないくらい我を忘れる忙しさではなかったと思います。14日には村議会の皆様が来校され、授業参観をしてくださいました。生徒や先生の頑張りを目の当たりにしてお褒めのお言葉を頂きました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

そして翌週17日には安全教室で本目駐在所長 小林様を講師に招聘（しょうへい）して、不審者から自らを守るための実践を教えて頂きました。18日から5日間を掛けて「勉強頑張ろう週間」も全校でありました。これは昼休みに期末テスト対策等を行うものです。25日にはスクールカウンセラーの加藤さんを講師としてSOS教室を行いました。ヤングケアラーのお話からスタートして、更にはいろいろなことから自らを守るための方法まで教えて頂きました。翌日26日は1・2年生の期末テストでした。私は何度かテストの様子を廊下から覗きましたが、時間ギリギリまで一生懸命やっている姿を見て、自分の中学生時代と重ね合わせていました。そうは言っても、私の時代とは異なり、教科書も厚くなって内容も高度化していますから、島中の皆さんは良く頑張っているなあと感心するばかりです。そして27日は芸術鑑賞で和心ブラザーズによる「和楽器民謡」コンサートがありました。28日は小学校での公開授業のため3時間授業でしたので、最後の2日間は少し時間的な余裕ができたのではないかと考えています。

本当にこの11月はみなさんにとってやる事が満載で、「全力を尽くせ！」なんて言えないくらいの月でした。それでも皆さんは常に前向きに、そして誠実に向かい合っていました。お疲れさまでした。

今学期は残り1ヶ月を切り、登校日数は18日です。3年生は12月に入ってすぐに三者面談があり、受験モードが加速していき、気を抜ける状況ではないでしょうが、「自分を大切」にして過ごしてほしいです。1・2年生の皆さんは11月ほどの怒涛の忙しさはないかもしれませんが、3年生の姿をしっかり見てほしいです。



一日防災学校 ～今年度の学習成果を発表～

10月31日(金)に、村内の危険箇所や避難場所、避難所運営について、フィールドワークなどの調査活動を通してまとめた内容を、学年ごとに発表しました。あわせて地震想定での避難訓練を実施し、より実感のこもった訓練となりました。後半には「Doはぐ」という、カード形式の避難所運営ゲームを3年生が中心となって、様々な事情を抱えた避難者の受け入れを想定しながら進めました。最後には村役場防災対策室長の川原尚郁様に講評をいただき、学習の成果を実感して今年度の学習を終えました。ご参観いただいた保護者の皆様、どうもありがとうございました。

避難所運営ゲーム「Doはぐ」のようす。小さな子供や持病を抱えた人などへの配慮についてもたくさん考えました。



2年生は、災害が起きた際の避難方法や避難経路についてまとめました。



ふるさと演芸会・村文化祭 ～全校合唱と縄文太鼓を披露～

8日(土)に、本校を会場として行われました。島中生は、この日のために練習した「冬の童謡唱歌メドレー」など3曲の全校合唱を披露しました。縄文太鼓では、今年度も澤口勝師範にご指導いただいた集大成として、全校生徒による演奏を披露しました。1年生は基本のリズム、2年生は島牧の豊かな情景を、3年生は「ふるさと島牧」への思いを込めた演奏という、学年ごとの役割を一つの演奏で表現しました。



全校合唱「冬の童謡唱歌メドレー」のようす。うしお通信で流れている「冬景色」(♪さざりきゆるみなどえの〜)も入っていて、耳になじみのある歌で会場を和ませていました。



1年生ははじめての縄文太鼓演奏でした。小6で作った土器に、中学校入学後シカの革を張った出来たての太鼓を使って、練習の成果を出し切ろうと真剣な表情で叩いています。

情報モラル・不審者対策教室 ～身を守る力をつけるために～

17日(月)、本目駐在所長の小林純様をはじめ、警察関係者のご協力のもと行いました。前半の情報モラル教室では、インターネットやSNSの使い方を間違えると被害者にも加害者にもなりうることを、具体的な事例を交えながら説明いただきました。後半の不審者対策教室では、「自分の車に生徒が石を投げた」と怒りながら校内に侵入、生徒に合わせると要求する不審者への対応を想定しました。制止しても応じないという緊迫した場面では、教職員が不審者を安全に制圧し生徒は速やかに安全な場所へ避難しました。今回の訓練を通じて、「自分の身を守る力」と「学校全体で安全を守る意識」が高まりました。今後も地域と連携し、安心・安全な学校づくりを進めていきます。



前半の情報モラル教室では、少年係やサイバー犯罪対策課での勤務経験を踏まえた、リアルな内容でお話いただきました。



教職員は、この日に先立って不審者対策研修を行っており、その成果を生かして不審者役の人を制圧しました。

第2回いじめアンケートより

学校では、いじめを見逃すことなく早期の対応をするために、定期的に「いじめアンケート」を行っています。10月に実施したいじめアンケートからは、新たないじめの事実は見つかりませんでした。しかしながら、アンケートのみですべてを把握できるものではありません。今後も、「島牧中学校いじめ防止基本方針」をもとに、「いじめは絶対に許さない」を徹底して、いじめの未然防止・早期発見・適切な指導を行っていきます。また、いじめに関わらず、生徒が嫌な思いをしたり悩んだりしたときに、自分で抱え込まずに誰かに相談できることがとても大切です。学校では、「悩んだときには誰かに助けを求めよう」と生徒に指導しています。ご家庭でもご理解・ご協力のほど、よろしくをお願いします。